

行事／取組名称	科学オリンピックへ挑戦！講座（プレチャレンジ in 岡山）		
担当者	原田 勲（JPh0）、平松美喜雄、他 3 名（岡山朝日高校）		
開催日時・期間	2019 年 6 月 22 日（土） 13 時 15 分～15 時 10 分	会場	岡山朝日高校（岡山市）
主 催	岡山県立岡山朝日高等学校	後援	
共 催	物理オリンピック日本委員会（JPh0）		
協 賛			
概要			
岡山では県教育委員会を中心に課外での科学教育に熱心に取り組まれており、特に岡山朝日高校では平松先生はじめ多くの教員もグローバルを意識した教育に取り組まれている。その成果は、過去物理チャレンジに多くの生徒が挑戦、中でも IPh0 メキシコ大会で同高生が銀メダル、昨年のポルトガル大会では日本チームただ一人の金メダルを獲得している。 今回プレチャレンジ開催の要請があり、原田が対応した。特に今回の講座では、物理チャレンジの過去間に挑戦した他、IPh0 での問題を例にして、世界水準の問題に対する考え方についても経験した。 参加者は、今回の経験を通して物理への興味を深め、身近な現象のから物理の楽しさの一面を経験し、物理への挑戦意欲を一層高めたものと思っている。			
参加者 教員	高校生	小・中学生	
教員 4 名	1 年生 30 名 2 年生 2 名	0 名	

報告事項
今回岡山朝日高校が主催し、物理に関心のある生徒を中心に参加者を募り、物理チャレンジへの一層の興味と物理現象を通して物理への関心を深める試みとして企画された。この活動は、「理数分野で卓越した意欲・能力を有する生徒を発掘し、その意欲・能力をさらに伸ばす取組を行うことで、国際的に活躍できる科学者、科学技術者の育成を目指す」という JPh0 の趣旨に整合し、JPh0 はこの活動を支援するために科学オリンピックへ挑戦！講座（プレチャレンジ in 岡山）を支援した。 講座は下記のスケジュールで行われた： 13：15～14：00 「物理チャレンジと国際物理オリンピック」 ・「実験レポートの書き方」 14：00～14：05 休憩 14：05～15：10 「物理への誘い」 15：10 閉会 第 1 部では、物理チャレンジや国際物理オリンピック（IPh0）の紹介を行い、物事に挑戦するときの心構えなどについて話すとともに、特に IPh0 など要求される問題解法時の考え方、即ち研究者目線での対応、をベトナム大会の理論第 1 問を例にして解説した。その後、実験レポートの書き方などについても簡単に講義した。 第 2 部では物理チャレンジの簡単な過去問題、虹などの身近な現象を題材にした問題、の解説を行い、物理への誘いとした。内容を十分理解出来ない生徒もいたが、それでも普段あまり考えない現象を物理という視点で考えると何が分かるかなどを学び、果敢に問題に挑戦する姿勢が印象的であった。 多くの参加者は、この講座で見たり聞いたりした事柄や物理現象の背後にある簡単な法則に興味を持ったようで、参加者がこれから物理へどのような興味を示すか興味深い。また、生徒たちにとってこの講座が貴重な経験となり、何かへの挑戦の第一歩となり、この企画が有意義であったことを願う。 最後に、この様なイベントを企画し、生徒達に科学現象に対する興味を持たせる取り組みを継続されている岡山朝日高校に、敬意を表するとともに感謝を申し上げる。



